

4月からテニス部（硬式）の顧問になる先生方へ

2019年度の春季大会（「関東大会県予選 兼 全国総体県予選」）についての説明です。
（参考：神奈川県テニス専門部ホームページ <http://www.k-tennis.net/>）

A 申し込み及び試合まで

【4/12(金)：申し込み ， 4/20(土)：抽選会 ， 4/24(水)：マネージャー会議】

1 大会の要項は3月に各校に配布されています。ご確認ください。封筒にある学校名のラベルの左上の数字が各校の学校番号です。1～99番は横浜地区、100番台は湘南地区、200番台は川崎地区、300番台は横三地区、400番台は北相地区、500番台は西相地区の学校です。

2 個人の部エントリー上限一覧

まず、配布された封筒に入っている「個人の部エントリー上限一覧」（以下「一覧」）を見ます。学校番号順に並んでいる学校名の右の数字が、各校の申し込みの上限になります。S（シングルス）3人、D（ダブルス）3組が原則ですが、前年度の新人大会での本戦出場数などがボーナスで加算されています。尚、シード対象者もこの人数に入ります。（シード対象となる選手については別記します）

3 申し込み用紙

- ア 申込用紙右上に記入する番号は学校番号です。封筒のラベルまたは「2」の一覧で確認してください。
- イ 申し込み用紙の選手名は、校内順位（実力順）に従って記入して下さい。特に、シングルの順位と団体の順位には、矛盾がないようにしてください。ダブルスで選手が重複して出場することはできません。また、シングルス、ダブルス共に、申し込み後の選手の変更はできません。例えば、シングルスで怪我等により出場できなくなった選手がいても、他の選手が出場することはできませんし、ダブルスでパートナーが辞めてしまっても、ペアを組み直して出場することはできません。
- ウ 団体の部の登録は5人までです。試合形式はシングルス2本、ダブルス1本の計3本勝負となりますが、シングルスとダブルスの重複は出来ませんので、エントリーには4人以上が必要です。今年度、怪我等による変更は1名に限り、5月7日の16：00まで可能です。別紙の条件をよく読み、ホームページから書式をダウンロードし、必要書類をそろえて委員長まで提出してください。
- エ 申し込み用紙は校長印押印後にコピーを取り、原本と合わせて2枚提出してください。

4 加盟登録用紙

加盟登録用紙に記載されていない選手は出場できません。コピーで構いませんので、地区用と県用の2枚同じものを提出してください。

5 大会参加料

- ア 別紙に指定された口座に、男女で分けず学校でまとめて振り込みます。申し込み当日には、振り込みを確認できる書類（コピー可）を「参加料払込確認書」に貼り、提出してください。
- イ 領収書には学校番号、参加数、学校名を記入して申し込み会場にご持参ください。その際に、「3」の申込書に記入した参加数と、領収書に記入した参加数が同じことを確認してください。

6 登録費（テニス協会加盟）

登録費は現金で支払います。今年度は抽選会時に現金（各校3000円）と、学校番号と学校名を記入した加盟登録費の領収書を必ずご持参ください。

7 申し込み

4月12日（金）です。申し込み場所は地区で違いますので、要項に同封されている書類に書かれている各地区の申し込み会場をご確認ください。申し込みは時間厳守です。遅刻したら出場は出来ません。

8 シード候補者

実績のある選手はシード対象者となることがあります。ホームページの『大会資料』にある『シード資料』から、必ず対象となる基準を確認の上、1つでも基準を超えるものがある場合は記載用紙をダウンロードし、必ずすべての項目を記入してご提出下さい。シード選手はシード委員会で選抜され、抽選会の会場で発表されます。シード選考から外れた場合は予選からの出場になるので、他の選手と同様に予選抽選の対象選手となります。

9 抽選会

4月20日（土）です。代表者が抽選会に参加しなかった学校は出場出来ません。会場に入れる各校の代表者は、男女各1名までとなっています。また、シード選手はこの会場で発表され、予選の抽選終了後にシード選手の抽選を行います。シード選手分のくじは、本人もしくは該当校の生徒（または顧問の先生）が引きます。

10 マネージャー会議

4月24日（水）です。マネージャーでなくても、代表として参加して頂ければ結構です。顧問の先生は、この日に配布された資料を選手の皆さんに印刷等して配布して下さい。選手心得や服装規定、日程などは読んでいない場合、試合に出場できないことにもなります。

11 ホームページ 大会連絡掲示板（神奈川県高体連テニス専門部）

試合会場、日程は各校で責任を持って確認して下さい。大会期間中はホームページにある『大会連絡掲示板』が定期的に更新されますので、連絡事項を必ず確認するように、選手へ伝えて下さい。顧問の先生方もご確認ください。

12 テニス大会には地区予選がありません。県大会予選からになりますので、県下全体が予選会場となります。個人の部では全会場への引率は難しいため、大会当日に顧問の先生は、申込書に記載した連絡先で必ず連絡が取れるようにしてください。尚、団体の部の参加には必ず引率して下さい。

13 大会毎に試合形式が違います。春季の県大会では予選はすべて1セットマッチです。本戦もシングルのベスト16出し、ダブルスのベスト8出しまでは1セットマッチで行います。本戦のシングルの4ラウンド以上、ダブルスの準々決勝以上は8ゲームプロセットで行います。

14 審判方式はソロチェアアンパイア方式（以下SCU）で行います。特に1年生が出場する場合には、SCUでの試合及び審判ができるように、各校での事前の指導をお願いします。SCUの説明はホームページの大会資料にありますので、ご確認ください。

B 全体的に

1 選手は一般的に高体連（高校体育連盟）の試合に出場していますが、これ以外の試合にも選手は出場できます。以下の通りです。

① テニス協会

ジュニア大会と呼ばれ、個人でテニス協会に加盟登録して出場します。中学までのテニス経験者の多くは協会に登録しています。U18、U16、U14と2歳刻みになっています。ジュニア大会にはダブルエントリーの規定があり、日程が重なる大会には出られません。ここで注意するのは、テニス協会側は高体連（部活）の試合と協会の試合が重なっていてもダブルエントリーとは見なさないということです。

一方、高体連側はジュニアの試合とのダブルエントリーは禁止しています。高体連の試合にエントリーしていながら、ジュニアの試合のために欠席すればペナルティー対象にもなります。このことを多くのジュニアの選手、保護者は知らないことからトラブルが起き得ます。

② 他の大会として国際大会（ITF）、国内の一般大会（JOP）などもダブルエントリーは出来ません。春の大会でエントリーする際、ご確認ください。

2 団体戦の1つの対戦中にベンチに入れるのは、顧問もしくはコーチ登録した人のどちらか1名または部員です。

3 審判制度：SCU方式につきましてはホームページの『SCUとルール』でご確認ください。

個人の部

予選、本戦共に、負けた選手が次の試合の審判をする。SCU方式。ダブルスの副審はありません。

団体の部

ベスト8までの試合

⇒ 対戦する学校同士で審判を行う。SCU方式。

決勝リーグ（団体の部の上位4校）

⇒ 対戦する4校が審判を出し合い、対戦相手ではない学校が審判を行う。SCU方式。

4 団体の部では、これまでも「関東大会県予選」と「全国総体県予選」を兼ねる大会として行われてきましたが、今年度より個人の部も「関東大会県予選」と「全国総体県予選」が一本化され、兼ねる大会として行われることになりました。尚、関東大会、全国総体への出場数は要項に記載されていますので、ご確認ください。